

デザイン科は、1年生が実社会のデザイン現場での研修を通して、学習意欲を高めるとともに、専門的なデザイン技術の向上を図る目的で県外研修を実施しました。

午前中は、大阪に本社を構える「株式会社阪急デザインシステムズ」を訪れました。「阪急デザインシステムズ」は今年で創立15年を迎え約200名の従業員を抱える会社です。バスが会社に到着した時には、数名の社員の方が出迎えてくださいました。

「クリエイティブが世界を創る」を信念とし、最近では地方創生分野でも確実に実績を上げている活気に満ち溢れた会社でした。



1 台数億円という最新の印刷機を目の前に説明を聴く生徒たち。



現場の独特な雰囲気に触れることができ、生徒たちにはいい経験となりました。

午後からは兵庫県立美術館を訪れ、プラド美術館（スペイン、マドリード）の核となるベラスケスと17世紀絵画のコレクションを通してスペイン黄金時代の社会と文化に触れる貴重な体験をしました。

